

# かみかわ町議会だより



## 新里「納涼祭」(新里多目的集会所)

(撮影者「フォーカス友の会」田村 啓さん  
小川 静男さん)

毎年恒例になっている新里納涼祭が、昨年8月24日に行われました。当日は小さなお子さんから地域のおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に、調理や会食、花火を楽しむ世代間交流が図られました。

### <主な内容>

- 平成26年度神川町一般会計補正予算(第5号)など補正予算を可決
- 神川町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例などを可決



### 議会を傍聴しませんか

第1回定例会は3月3日(火) [午前9時~] 一般質問等から12日(水)を予定しています。

編集 神川町議会運営委員会  
発行 埼玉県児玉郡神川町議会

〒367-0292 児玉郡神川町大字植竹909  
☎0495(77)0707 <http://www.town.kamikawa.saitama.jp>

# 定例会のあらまし

平成26年第5回神川町議会定例会は12月4日から12日までの9日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された平成26年度神川町一般会計補正予算ほか22議案、議員提案が1件、また、請願1件、陳情2件などが審議されました。

## 町政に対する一般質問

一般質問は、12月4日に行われ、5名の議員が町長をはじめ町当局の考えを質問しました。  
概要は、次のとおりです。



柴崎 愛子 議員

### 放課後児童健全育成事業の 充実について

◆特別支援学校に通う子どもたちのための  
放課後支援施設について

現在町には、特別支援学校に通う子どもたちのための放課後利用施設がありません。そのため、本庄市や深谷市にある施設を利用し、また定数制限によりあき待ち状態の方もおり、お母さんたちはフルタイムで働くことができない状況です。

また、特別支援学校に通う子どもたちは、一般の学童保育所への入所が難しく、お母さんがたは大変困っています。このような現状を町長は把握しているのか伺います。

県内63市町村中、放課後等デイサービスまたは多機能型事業所を持たないのは、3市10町1村で、この中に神川町も入っています。

365日子どもたちにかかわっているお母さんたちに、ほんの少しだけ心のゆとりが持てるような時間と場所の提供として、そして放課後児童健全育成推進のために、町に放課後等デイサービスをつくる考えはあるか伺います。

また、NPO法人等を立ち上げて始めた場合、町として全面的な協力について伺います。

## 答え 町長

◆開設は既存の社会福祉  
事業者等へよびかけて  
いきます。

放課後等デイサービスは、児童福祉法に基づき、障害を持つ児童生徒などを対象として授業の終了後または休業日に生活能力の向上

に必要な訓練や社会との交流の促進等を行う事業です。

実施事業所数は、平成26年10月末時点で県内に199カ所あり、そのうち公立事業所は、鴻巣、草加、北本市の3カ所です。鴻巣市と北本市につきましては、指定管理者制度を導入し、NPO法人が運営をしています。町が主体となつてこの事業を実施するかどうかは、他市町村の動向を見ながら検

討します。

また、町におけるこの事業の利用状況は、11月末現在で5名の方が本庄市内の事業所を利用し、このほかに希望者1名の方が現段階では利用できない状況です。

町としましては、今後、既存の社会福祉事業者へ開設を呼びかけることなどにより事業の普及を図ります。また、NPO法人等への全面的な協力は惜しまずに行います。



放課後等デイサービス「大きな樹」(本庄市)



廣川 学 議員

## 出前授業及び中学生議会における 小中学校及び町の対応について

### ◆実施方法や内容について

今年で2年目となる出前授業が先月行われましたが、連絡がなかったため参観できませんでした。広報かみかわの情報では、今年度の授業内容は世界遺産登録となった富岡製糸場と絹産業遺産群の関係から、

我が町の偉人、木村九蔵さんについての授業だったようで、昨年は、町についての説明でした。

私の考える授業内容は、町長の仕事とはこういうものであるとか、キャリア教育をテーマにした方が良いと思いますが、町長の考えを伺います。また、出前授業の趣旨や目的、来年度以降はどのように考えているか伺います。

中学生議会の議員の選考方法について、また、開催日が夏休みの平日であったため、保護者の方の傍聴がほとんどなく、加えて校長先生の姿も見えない状況で、町や中学校は中学生議会をどう捉えているのか伺います。

### 答え 町長

### ◆教育委員会や各学校と調整を図り、実施方法について検討します。

出前授業は、町の現状や今後のまちづくりについて子どもたちの理解を深めるとともに、郷土を愛する心情を養うことを目的としています。今年度は、10月と11月に5校で実施し、内容は「日本の絹産業と神川町の2人の偉人」をテーマにしたお話と、児童生徒との意見交換会との2本立てで行いました。



中学生議会

児童生徒は初めて知る内容に興味深く授業を受け、意見交換会ではさまざまな質問や意見が出され、今後のまちづくりの参考となりました。来年度も授業の目的を念頭におき、各学校と調整しながら実施します。

中学生議会の参加者の選定方法は、生徒会役員と3年生の学級委員を対象として実施しています。開催日は土曜日授業の関係で夏休み期間中に行っていますが、保護者の参加を考え休日開催の方が効果的という意見もありますが、教職員の対応なども調整する必要があります。今後、教育委員会と調整し実施方法について検討します。



出前授業（神川中学校）

## 町内の空き家対策について

### ◆現状と今後の対策について

空き家対策は全国的にも問題となっており、昨年11月18日には「空き家対策推進特別措置法」が可決されました。

町内でも、年々空き家が増えてきており、人口減の問題のみならず治安の面でも町民に不安が広がっています。先日も群馬県で空き家が

放火された事件がありました。町では町内の空き家を把握しているのか、また、何か対策をとっているのか伺います。

## 答え 町長

### ◆所有者等に連絡し、適正な管理を指導します。

町内の空き家の状況は、旧神泉地区では、所有者が遠方に居住、また施設入所などの理由で30軒ほどあります。旧神川町では、特に調査は行っていませんが、総戸数から判断すると相当な数の空き家があると思われる。

こうした中で、適正な管理がなされずに放置され、雑草が生い茂り、動物が入り込むなどしている空き家もあり、防災や環境面で心配なものも見受けられます。これらの空き家に対しては、町の防災環境課で直接所有者等に連絡し、適正な管理について指導を行っています。

空き家は、今後も所有者の高齢化や相続人の不在等で適正な管理がなされない家が増加することが予想されます。町としましては、先月国会で可決成立した「空き家等対策の推進に関する特別措置法」の公布施行を受けて、町民皆様の生活環境に悪い影響が及ぼさないよう適正な指導等を行います。





大川 喜和子 議員

防災について

◆町全域で行う防災訓練の実地及び避難場所数について

毎年9月1日の防災の日には、多くの市町村で防災訓練が行われています。町には、土砂災害警戒区域がたくさんあり、毎年6月に全国統一土砂災害訓練という形で順次訓練は行われていますが、その他の地域では実施されていません。平成24年9月議会での質問で、町長は「防災訓練の必要性は感じており、来年度に向けて防災訓練をやつていきたいと考えています」と答弁したにもかかわらず、まだ実施されていません。その理由について伺います。

町には避難所も兼ねているところを合わせて、避難場所は12カ所あります。24年9月議会の質問に対して、「東日本大震災のとき、避難場所を周知したため、被害を大きくしたということもありますので」と答弁されました。避難場所を周知させることに消極的と思える発言ですが、その真意について伺います。また、矢納と住居野には避難場所がありませんが、町全体で12カ所という避難場所数は適切かどうか伺います。

答え 町長

◆各種団体と協力し効果的な防災訓練を目指します。速やかな誘導に努めます。

防災訓練につきましては、町では、神川町地域防災計画に基づき実地訓練として水防訓練、消防訓練、土砂災害訓練等を想定した災害ごとに区域、場所を選定し、実施していきます。今後の防災訓練では、日赤奉仕団等各种団体と協力してより効果的な防災訓練を目指します。

避難所の指定は、切迫した危険から逃れるため安全性の高い学校や集会所、

公民館等の建物内に身を寄せられる場所を選定しています。

一方、避難場所は、一時的に危険を逃れ、身の安全を確保できる空間として公園の広場や学校の校庭等を選定しています。

避難所と避難場所を合わせて町内には28カ所あります。災害発生時には、災害地点の状況を分析し、より安全な避難所へ速やかに誘導できるよう努めます。



土砂災害訓練 (桜城地区)



赤羽 奈保子 議員

がん教育について

◆町の対応について

国は、文科省の委託事業としてがん教育に関する検討委員会を立ち上げ、がんの正しい理解や命の大切さについて考える態度の育成、また、施策として、健康教育全体の中でがん教育をどのようにするべきか、その指導方法や副読本の作成など、具体的な取り組みが示されました。

東京都豊島区では、がん教育の推進として、教員向けに小、中学校、それぞれの指導書や児童生徒向けのプレゼンテーション用の教材を作成し、どの教員でもがん教育の指導ができるような取り組みをしています。

町では、中学校3年生を対象に性教育の中でがん検診についてお話をしていると伺いましたが、今後のがん教育への対応、推進について伺います。

熊谷市では、「いのちの授業」としてがんを克服された方の体験や小児がんで娘さんを亡くされた方のお話などを出前授業として行っています。外部の方を講師とした「いのちの授業」のような取り組みをしていく考えはあるか伺います。

答え 教育長

◆他市町村の動向を注視し取り組みます。

学校教育全体の中でがん教育を

推進することは、がんに対する正しい理解とがん患者に対する正しい認識、また命の大切さに対する理解を深め、大変重要であると考えます。現在、県内においてがん教育学習は計画されていませんが、保健体育の授業で健康な生活と病気の予防として、



薬物乱用防止教室（神川中学校）

がんについて学習しています。町の小中学校では、毎年講師を招いて実施している薬物乱用教室でがんを取り上げています。今後、がん教育の必要を認識した上で県及び他市町村の動向を注視し取り組みます。

# ヘルプカードについて

## ◆ヘルプカードの導入について

ヘルプカードは、障害のある方が緊急時や災害時だけでなく、日常的にも何か困ったことがあったとき、誰かに伝えたいこと、例えば緊急連絡先やアレルギーの有無、周りの人に配慮してほしいことなど、困ったときの対処の仕方、障害の特性や支援方法などを書き、携帯するものです。町としてヘルプカードの導入をする考えはあるのか伺います。

## 答え 町長

### ◆ヘルプカードの導入に向けて検討します。

現在国、県、市町村、民間においてヘルプカードやSOSカード、防災カードなどとして、それぞれの地域に合ったものが作成されています。

県の取り組みでは、緊急連絡先や障害の内容、飲んでいる薬、必要な支援の内容などの災害時や緊急時に求められる項目を示して



ヘルプカード（東京都社会福祉協議会）

ルプカードの普及を図っています。災害発生時において、障害者、高

齢者などの要支援者に対しては、きめ細かな対応が必要であり、特に聴覚障害者や内部障害、知的障害者など、一見障害者であることがわからない方に対して十分な配慮が必要であると考えます。ヘルプカードは有効なもので、

町は個人情報に配慮し、既に希望者に配付している救急医療情報キットの普及促進とともに、導入に向けて検討します。また、広域のかつ統一的に活用できるように児玉郡市内でも調整を図ります。



渡辺浩一 議員

## 有害動物の対策について

### ◆被害防止策について

近年、在来動物の繁殖により多くの被害が報告され、農水省によると、野生動物による食害は年間200億円を超えると推定されています。

町におきましても農作物の被害とともに人間にも危険な動物、有害獣の駆除を含む適切な管理を猟友会などの協力を得て、多く繁殖しないうちに、被害が拡大しないように速やかに駆除することが必要であると考えますが、町の取り組みを伺います。

答え 町長

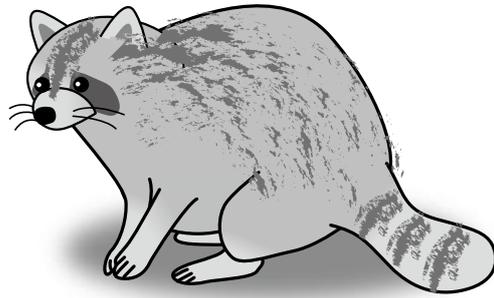
◆法律を遵守し野生鳥獣からの被害防止と共存を図ります。

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律により、イノシシやタヌキなどの日本在来の野生鳥獣の捕獲は禁止されています。しかし、農林水産物の被害や生態環境の悪化、人身への被害などが生じ、柵を設ける等の防除対策によつては被害が防止できないと認められる場合に限り、有害鳥獣捕獲を行うことができます。

一方で、特定外来生物に指定されているアライグマ等は、完全排除が基本なので、被害がなくても駆除できません。イノシシ等は鳥獣保護の側面もあるため、無秩序な捕獲はできず、人に被害を及ぼす場合に限り猟友会に駆除を委託しています。

また、町では平成25年度より農

業振興策の一環として、農作物の生産販売に取り組み農業者に対し、鳥獣被害を防止するための防護柵等を設置する費用の補助を行っています。今後も野生鳥獣による被害の防止と保護管理のバランスを図り人と野生鳥獣の共存を目指します。



特定外来生物「あらいぐま」

※一般質問の全文は、議事事務局の会議録で閲覧することができます。また、町ホームページでも閲覧出来ます。

議案審議の結果

十二月定例会は、平成二十六年度の一般会計及び特別会計の補正予算、条例の改正、請願、陳情などが審議され、それぞれ可決されました。

人事関係

◎人権擁護委員候補者に山口精一氏を同意

人権擁護委員候補者に町長から同意案が提出され、満場一致で同意されました。

神川町大字渡瀬750番地  
昭和27年5月26日生

予算関係

◎平成26年度神川町一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ1億2,615万円2千円を追加し、総額を66億7,306万5千円とするもの。

◎歳入に追加された主な項目

地方特例交付金	31万6千円
国庫支出金	158万2千円
県支出金	514万8千円
繰越金	9,045万6千円
諸収入	85万円
町債	2,780万円

◎歳出に追加された主な項目

議会費	71万9千円
総務費	4,895万8千円
民生費	2,257万5千円
衛生費	142万1千円
農林水産業費	55万5千円
商工費	265万1千円
土木費	1,600万6千円
教育費	1,914万1千円
公債費	1,412万6千円

〔審議結果〕全員賛成 原案可決

◎平成26年度神川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

事業勘定の歳入歳出それぞれ1,226万2千円追加し、総額を17億6,923万3千円とし、施設勘定の歳入歳出それぞれ41万6千円追加し、総額を1億2,929万2千円とするもの。

【事業勘定】

◎歳入に追加された主な項目  
国庫支出金

▲2,160万3千円

# 条例関係

件名	内容
神川町町長及び副町長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、一般職と同様に期末手当の支給率を改正するもの。
神川町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	
神川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	
神川町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、条例の一部改正を行うもの。
神川町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴い、介護保険法の一部が改正されたことにより制定するもの。
神川町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例	
神川町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
神川町立幼稚園保育料等徴収条例	平成24年8月に成立した「子ども・子育て関連3法」に基づき新制度が平成27年4月にスタートすることに伴い所要の改正を行うもの。
神川町行政手続条例の一部を改正する条例	行政手続法の一部改正に伴い改正するもの。
神川町国民健康保険条例の一部を改正する条例	出産一時金等の見直しに関する健康保険法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことにより、所要の改正を行うもの。
児玉郡市及び深谷市における公の施設の相互利用に関する協議について	対象施設の追加を行うため、改めて協定を締結するもの。
新町建設計画の変更について	合併特例債の起債期間が延長されたことにより変更するもの。
町道路線の変更について	現状道路として利用されていない部分を、現況道路と認定区間を合わせるため変更するもの。

※これらの審議結果につきましては、全員賛成により原案のとおり可決されました。

<p>前期高齢者交付金 繰入金 2,511万5千円</p> <p>○歳出に追加された主な項目 繰入金 875万円</p> <p>総務費 26万円</p> <p>保険給付費 460万円</p> <p>後期高齢者支援金等 529万6千円</p> <p>前期高齢者納付金等 ▲14万7千円</p> <p>老人保健拠出金 ▲2万円</p> <p>介護納付金 152万1千円</p> <p>諸支出金 75万2千円</p> <p>〔施設勘定〕 ○歳入に追加された主な項目 繰越金 41万6千円</p> <p>○歳出に追加された主な項目 繰入金 41万6千円</p> <p>総務費 41万6千円</p> <p>〔審議結果〕 全員賛成 原案可決</p> <p>◎平成26年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ、64万4千円追加し、総額を1億1,238万4千円とするもの。</p> <p>○歳入に追加された主な項目 繰入金 64万4千円</p> <p>○歳出に追加された主な項目 繰入金 15万7千円</p> <p>総務費 15万7千円</p>	<p>後期高齢者医療広域連合納付金 48万7千円</p> <p>〔審議結果〕 全員賛成 原案可決</p> <p>◎平成26年度神川町介護保険特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ、1,039万8千円追加し、総額を9億4,068万9千円とするもの。</p> <p>○歳入に追加された主な項目 国庫支出金 255万4千円</p> <p>支払基金交付金 290万円</p> <p>県支出金 125万円</p> <p>繰入金 369万4千円</p> <p>○歳出に追加された主な項目 総務費 39万8千円</p> <p>保険給付費 1,000万円</p> <p>〔審議結果〕 全員賛成 原案可決</p> <p>◎平成26年度神川町営バス事業特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ、8万7千円追加し、総額を1,295万9千円とするもの。</p> <p>○歳入に追加された主な項目 繰入金 8万7千円</p> <p>○歳出に追加された主な項目 事業費 8万7千円</p> <p>〔審議結果〕 全員賛成 原案可決</p>
--	---

◎平成26年度神川町観光事業特別  
会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ、230万1  
千円追加し、総額を6,469万  
3千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰入金 230万1千円

○歳出に追加された主な項目

事業費 230万1千円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成26年度神川町公共下水道事  
業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ、17万1千円  
追加し、総額を2億4,880万  
1千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰入金 17万1千円

○歳出に追加された主な項目

総務費 17万1千円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

## 契約関係

◎物品購入契約の締結について

契約の目的 情報系機器一式

契約方法 随意契約

契約金額 1,296万円

契約の相手方

住所 長野県長野市鶴賀

七瀬中町276番

地6

氏名又は名称

株式会社 電算

代表者職氏名

代表取締役 轟 一太

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎工事請負契約の締結について

契約の目的 金比羅橋長寿命化

修繕工事

契約方法 一般競争入札

契約金額 9,720万円

契約の相手方

住所 埼玉県本庄市日の

出1丁目5番7号

氏名又は名称

真下建設 株式会社

代表者職氏名

代表取締役 真下敏明

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎工事請負契約の締結について

契約の目的 神川中学校駐車場

改修工事

契約方法 一般競争入札

契約金額 5,346万円

契約の相手方

住所 埼玉県児玉郡

神川町大字八日市  
305番地3

株式会社 松本興業

代表者職氏名

代表取締役 松本信雄

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎工事請負契約の変更について

契約の目的 神川中学校運動場

改修工事

変更の内容 1億2,750万

4千800円の契

約金額を1億3,

144万6千80

0円とする。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

## 議員提案

◎議員派遣の件

目的 議会議員としての見

識を深め、町自治機

関の改善振興を図る。

派遣場所 上里町

派遣期間 平成27年2月上旬

派遣議員 議員全員

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

## 報告

◎専決処分の承認を求めることに  
ついて

・平成26年度神川町一般会計補正  
予算(第4号)

歳入歳出それぞれ825万9千

円を追加し、総額を65億4,691

万3千円とするもの。(12月14日執

行の衆議院議員選挙に係る費用)

○歳入に追加された主な項目

県支出金 825万9千円

○歳出に追加された主な項目

総務費 825万9千円

## 請願

◎総務経済常任委員会

件名 植竹地内町道404

6,4054号線道

路整備及びU字溝設

置等について

要旨 両路線については未

整備なため道路整備

及びU字溝設置等を  
お願いするもの

請願者 植竹本区長

星野 勇

植竹第3区長

金井良平

紹介議員 田村 勝議員

〈審議結果〉採 択

# 陳情



西部農民センター付近

◎総務経済常任委員会

件名 町道1396号線の舗装と防犯灯等の整備について

要旨 元阿保区公会堂(仮称)建設に伴い、住民の利

便性と安心安全のため、未舗装道路の舗装、防犯灯及びカーブミラーの設置のお願い

陳情者 元阿保区長 磯野 徹

〈審議結果〉道路部分について採択

件名 肥土高橋記念公園東側町道の整備と側溝の設置、北側の側溝を南交差点まで延伸について

要旨 高橋記念公園東側町道の整備と側溝の設置、北側の側溝を南交差点まで延伸するのお願い

陳情者 肥土区長 中澤 省三

〈審議結果〉採 択



高橋記念公園付近

◎文教厚生常任委員会

件名 町道1396号線の舗装と防犯灯等の整備について

要旨 元阿保区公会堂(仮称)建設に伴い、住民の利便性と安心安全のため、未舗装道路の舗装、防犯灯及びカーブミラーの設置のお願い

陳情者 元阿保区長 磯野 徹

〈審議結果〉防犯灯について 継続審査

10月22日(水)14名の参加により藤岡市にある「高山社」及び富岡市にある「富岡製糸場」を視察しました。「高山社」は木村九蔵氏の実家で、木村氏は23歳の時に神川町新宿に移り住み、養蚕業の改良に努め、明治10年には現在の本庄市児玉町に競進社を組織しました。「富岡製糸場」は原善三郎氏が経営する「原合名会社」が明治35年から約37年間操業しました。両建造物とも神川の偉人のゆかりの地となっています。



西部農民センター付近

## 旧議員倶楽部視察研修



富岡製糸場

# 議員視察研修

佐賀県有田町を視察しました。

昨年の11月に、「有田焼」で有名な有田町を視察しました。有田町は、平成18年に旧有田町と旧西有田町とが合併し、陶磁器産業と農業を基幹産業とし、地域活性化に取り組んでいる町です。まちづくりの特徴は、行政が主体でなく、東京で活躍するメンバーや地元大学、高校、各種研究機関、商工業、農業、まちづくり団体、女性団体、NPO団体等多くの自発的団体で構成された「有田町地域活性化協議会」が中心となり「地方の元気再生事業」に取り組んでいることです。



有田町視察研修

具体的には「もてなしの食材づくり」、「もてなしの場づくり」、「通年観光体制の整備」、「有田トータルブランディングと国内外へのマーケティング」といった4本の柱をたて、さまざまな事業を行っています。また、平成26年度からは今までの事業を検証し、「有田焼」をJAPANブランドとして世界へ販路拡大を図るなど、各種事業の振興策に取り組んでいます。

## 11月

1日 町民文化祭



- 31日 定例全員協議会  
「議会基本条例」研修
- 27日 川県宇多津町他  
郡議長会視察研修（香冬桜まつり）
- 26日 年記念式典
- 25日 美里町合併60周年、町制30周年  
神川中秋桜祭
- 22日 製糸場
- 19日 旧議員倶楽部視察研修（富岡コスモまつり）
- 18日 本庄地方地域安全大会  
ハートフルデイ2014
- 17日 議員研修会（吉見町 フレサよしみ）
- 12日 町民体育祭
- 8日 庁舎検討委員会
- 4日 育所・丹荘保育所
- 3日 運動会（神川幼稚園・青柳保診療所あり方検討委員会）
- 2日 地域審議会
- 1日 定例全員協議会

## 10月

### 議会日誌



- 7日 税制改正要望来庁（本庄法人会）
- 11日 視察研修兼卒業旅行  
（佐賀県有田町他）
- 18日 利根グリーンセンター運営委員会
- 19日 斎場運営委員会
- 25日 議会運営委員会
- 27日 庁舎検討委員会
- 30日 消防団特別点検

## 12月



- 1日 定例全員協議会
- 2日 財政研修
- 4日 冬の交通事故防止キャンペーン
- 6日 第5回定例議会（一般質問等）
- 7日 神川幼稚園生活発表会
- 8日 神川中50周年記念式典
- 10日 ステラ祭り
- 12日 総務経済常任委員会
- 10日 文教厚生常任委員会
- 20日 第5回定例議会（条例、補正等質疑討論採決）
- 22日 等質疑討論採決
- 20日 壁保己一賞表彰式（本庄市セイルデイ）
- 22日 クリスマスマイルミネーション点灯式
- 22日 広域圏議会